

# 姫路市の緊急医療体制の充実を

## 日本共産党姫路市会議員団が実態調査



県立循環器病センターで調査する右から谷川・大脇市議、杉本・ねりき県議、金田氏。

# 19病院に受け入れられず男性が死亡

六日に兵庫県姫路市内の自宅で倒れた男性(六六)が十九の病院に受け入れを拒否され死亡した事件で、日本共産党姫路市議団は十一日、市内の医療機関と姫路市消防局から実態を聞き取りました。

姫路市議団の大脇和代、谷川真由美、森由紀子の三市議は金田みねお衆院比例近畿ブロック候補とともに姫路市消防局と庁内で懇談。「これまでも十八回から二十三回も受け入れを拒否されたケースが三例はある」(大和裕史消防局長)、「受け入れる病院の医師不足が原因ではないか」といった姫路市救急医療の実態を聞きました。

救急の輪番制の崩壊が問題となるなか、播磨地域の救命救急センターを担う兵庫県立姫路循環器病センターには、杉本ちさと、ねりき恵子両県議とともに、大脇、谷川両市議と金田候補が訪れました。

対応した梶谷定志副院長・同センター長は、救急体制の維持負担や医師不足のせいで二次救急を担う病院が減ってきたことを指摘し、「こうした事態には以前から危機感をもっていた」といいます。

一年前に七人いた麻酔科医が現在は一人しかおらず、夜間の脳手術への対応が難しい現状を認め、「いま、がけっぷちの状態です。医師が減ると残った医師に負担が増えて、またやめてしまいます。政治の力が絶対大事です。いくら医師ががんばろうと思っても、金と人を増やさないとどうにもなりません」と語りました。

大脇、谷川、森の各市議は石見利勝市長に緊急医療体制の充実を口頭で要望。灘隆彦議長へは入江次郎市議も加わり、四人全員で要望しました。

公約実現めざしてがんばります

市議員  
大脇和代



市議員  
谷川まゆみ



市議員  
森ゆき子



市議員  
入江次郎



# 日本共産党姫路市議団が委員会審査で活躍

## 医師・看護師を増やし、地域医療制度を守れ

日本共産党提案の「医師・看護師増やす意見書」不採択の当日に、救急搬送男性死亡事件  
市立幼稚園の強引な統廃合やめ、全園で2年保育の実現を



谷川まゆみ議員 文教委員会

### 小中一貫教育は、もつと情報公開市民論議を 少人数学級実現請願採択を

十二月六日開催された、文教委員会において谷川まゆみ議員は、以下のような質問を行うとともに、「市立幼稚園を統廃合せず全園で2年保育を求めることについて」と「少人数学級の実現を求めることについて」の請願採択を強く求めました。

一、本年度は、エレベーターの設置が一台もなかったが、来年度は計画に沿って必ず設置するよう強く求めました。当局は「予算要望はしている。今年度は対震改修に集中」と答えました。

二、全国学力テストについては、テストそのものにも問題がありまして、

すが、名前を書く必要はないのではないかと。当局は「来年度からは、国の方針変更に伴い、番号を記入する」と答えました。

三、幼稚園の臨時教員の賃金について、生計が維持できる賃金かどうか、というところで、大幅な改善をしていただけないという認識でよいのか。

四、魅力ある姫路の教育創造プログラム」の策定に関して、「白鷺校区推進連絡協議会」で決まったことについては、住民や議会にきちんと報告するべきではないか。また、小中一貫教育については、現場や保護者、市民に対しては、現場や保護者、市民に対しては、引き続き説明責任を果し、情報公開、市民論議のもとで行うよう強く求めました。

五、幼稚園教育振興計画実施計画については、やり方が強引すぎること、市民のニーズである、四



森ゆき子議員 厚生委員会

### 後期高齢者医療制度の実施凍結を 医師・看護師増やす意見書採択を

12月6日厚生常任委員会が行われ、市の報告ではゆかた祭の2日間への期間短縮開催について安全安心な街づくりの面から「安全安心を推進する条例」を次の3月議会にて審議事項に提案すると報告がありました。

また国民健康保険料の特別徴収（後期高齢者医療制度）についての説明が行われました。

森ゆき子議員は特別徴収については国民健康保険料の支払いと同様に予め細かな窓口対応につとめ、

対応」などに今から取り組む体制をつくるよう、要望しました。

9月議会に引き続き後期高齢者医療制度の見直しの請願と年金問題の請願は継続審議となりました。

この件でも街頭宣伝の中で地域を回った際、まだまだ周知されていない問題も発言し、採択を求めました。

新たに提出された「医師・看護師を増やし地医療制度を守る意見書（案）」と「後期高齢者医療制度の4月実施凍結を求める意見書（案）」については、同時に提出された請願書が継続審議となり、趣旨・内容が意見書と近いものであるため、意見書は不採択という結果になりました。

しかしこの厚生委員会のまさに当日、救急搬送の受け入れ先がないために姫路市内の男性が亡くなるという痛ましい事件が起こり、改

めてこの医療の問題を追及し、請願の採択や次期の議会で見解書の採択めざしがんばります。

#### 観光と賑わい特別委員会

12月11日には観光と賑わい特別委員会が開かれ、当局から「観光パスポート」の発行について説明がありました。複数の観光施設を一定の割引料金で入場できる共通観光券を発行し、滞在型観光客の誘致を図るものですが料金や具体的な減免設定など、今後様々な面で調整の必要があるとのこと。